



○ 今年の
学園祭

姉水

発行所
滋賀県長浜市宮部町 2410
滋賀県立虎姫高等学校内
姉水会
〒 529-0112
TEL 虎姫 0749-73-3055 内
印刷 株式会社サラト

姉水会員の皆さま、益々ご健勝にてご活躍のこと、お慶び申し上げます。
さて、姉水会の会合等で母校を訪れる折、ちよつと変わった風景を目に致します。虎姫高校正面玄関を入って左に職員室があります。
その職員室前の廊下に二〇数脚の机が端に並んでいます。
先生にお聞きすると、生徒が放課後廊下で自習するために並べられているとのこと。自習するに当たってわからない時すぐに職員室に尋ねにいけるという利点があります。
しかし、廊下ですからわざわざしても仕方がないはず、それでも続けて自習しているのは生徒が集中しているからであり、同時に廊下を通る生徒も自習している生徒を気遣っているからだと思えます。そのような風景がごく自然に見られるのが今の虎姫高校なのです。先生の発想か、生徒の発想かは定かではありませんがそんな風景をみていて、なんとなく落ち着いた雰囲気を感じ、ほほえましく思い、同時に頼もしく思いました。我々の時代は夏休み勉強合宿がありました。現在は形をかえて生徒が自主的に学ぶ姿の現れたと思います。些細な事かも知れませんがこのようなことの積み重ねにより、虎高の伝統が受け継がれていくのだ

廊下学習

自主的に学ぶ姿

姉水会会長 木下善正

平成25年度「姉水会」総会のご案内

期日	平成25年8月3日(土)		
日程	午後1:00~1:30	理事会	
	1:30~2:30	総会	
	3:00~4:00	講演会	
	4:30~	懇親会	

場所 母校大会議室(第3棟2階)

講演会 講師 京都工芸繊維大学教授 三木 定雄 氏(満20回)
演題 「教育における個のインテレストと全体のインテレスト
—2つのインテレストの取組が創み出す「学力低下」—」

懇親会 魚作寮 (TEL 0749-73-3031)
会費 5,000円

※ご参加いただける方は、7月下旬までに姉水会事務局へご連絡下さい。
総会あるいは講演会のみでの参加でも結構です。
姉水会事務局 TEL 0749-73-3055
FAX 0749-73-2967

なあと感じました。
会員の皆さま、母校をぜひ訪れて頂ければ、建物は新しくなっただけで、生徒諸君の伝統を受け継いでいる姿をきつと目にすることができるとしよう。
現在の母校のひとつまをお知らせしながら、会員皆さまの尚一層のご支援、ご指導をお願いし、合わせてご活躍をお祈りいたします。

ご挨拶

校長 武友建史



姉水会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。皆様には平素より母校のために多大なるご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、私はこの四月の人事異動により、母校である虎高高校に校長として赴任いたしました。スーパースタイルハイスクール指定など、多くの業績を残された西崎前校長先生の後任として、精一杯頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私が高校に入学した昭和四十五年（一九七〇年）、創立五十周年式典が秋に行われ、トルコ史の大家である護雅夫先生のご講演があったのを記憶しておりますが、大阪万国博覧会開催の年であり、人類の進歩と調和に満ちた未来への希望を虎高一年生として感じていた時代でした。一日七時間授業でしたが、授業中に感じた歴史のおもしろさや「美しい」数式のおどろき、教科書を嚙呑みにして自分で考えていないことを叱られた体験。また友達を紹介してくれた書物や学び方、社会や生き方についての熱く青臭い仲間との語り。まさに虎高という「場」の持つ力と言うべきものがあり、虎高に來たからこそ様々なものごとを経験し、その後の自己の学びや生き方の基礎が鍛えられたのだと思っています。

創立以来、脈々と継承されてきた「質実剛健」の校訓や巖谷小波作詞の校歌にある「独立自尊」「一方円自在」の精神は、今も本校の教育活動の中に生かされています。

「文武両道」を追求する気概は、例えば部活動への九十%を超える加入率となつて示され、囲碁将棋部の全国大会出場、陸上部、水泳部、卓球部、ソフトテニス部、演劇部、美術部の近畿大会出場などの実績も生まれています。また、文化祭、体育祭、自然体験学習などの熱心な取り組みも生徒のたくましい成長を促しています。

学習面では「自学自習」の姿勢を大切に、基礎基本となる知識や技能のさらなる習得にとどまることなく、それらを活用して新たな知を追求する態度や学力を身につけるよう指導を進めています。特に昨年度からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受ける中で、従来から生徒に求めてきたものを「3つの力、2つの態度」として整理しました。すなわち「探究力、表現力、協働力」と「主体的な態度、科学的な態度」です。すでに実施してきた「高大連携事業」をSSH事業の中で再構成するとともに、学校の内外に学びのフィールドを設定しながら、すべての教育活動を通じてそれらを育成したいと考えています。今年度からは「県立高等学校学力向上・評価研究指定」を受け、生徒に付きたい力の評価指標や方法についても検討していく予定です。

ところで、県教育委員会は昨年十月に県立高校再編計画を発表しましたが、長浜市内に統合新校を設け、その実績を見定めた上で設置後五年を目途に中高一貫教育校を設置するとしていました。本校が指定を受けて研究を積み上げてきた中高一貫教育ですが、県の方針が凍結・中止から近隣他校への導入へと変更して、このような結果となりました。今後は制度に関する県の方針変更はないことを前提に、これからの虎高を考えていく必要があると考えています。

学校教育を取り巻く状況は変化し、また課題も多様になっていますが、その中で学校教育が「目的」とするものと、制度や道具なり「手段や目標」とするものをしっかり見分けて教育活動を推進することが大切であると思います。九十四周年記念事業でいただいた「電子黒板」は本校の教育活動において有効なツールとして大いに活用させていただいておりますが、先生方には上手く授業で活用するという目標と、その授業により生徒が学習意欲や学力を向上させるといった目的を混同されないように伝え、そのような意識を持って授業改善に努めてもらっています。

今春卒業した六十五回生も自らの目標に向かって努力を重ね、大学入試において、例年と変わらぬ好成績を上げてくれました。また六十六回生の卒業により、卒業生の数は二万を超える予定です。これからも本校が湖北に冠たる進学校としての校風や「場」の力を見失うことなく、「自主自律」の実践力を身につけた生徒を育成し、国の内外において活躍をされている会員の皆様が続いていけるよう、教職員一丸となって努力する所存です。皆様には今後とも母校に對しまして、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年度 姉水会役員 (敬称略)

役員	会長	木下 善正	高14
	副会長	世原 雅子	高15
	副会長	関谷 松男	高20
	副会長	沢田 昌宏	高28
	副会長	長谷川 隆男	高3
	副会長	前川 一郎	高7
	副会長	伊藤 正明	高20
	副会長	山中 隆雄	高25
	副会長	武友 建史	高25
	副会長	梶尾 昇	高28
	副会長	本城 善男	高28
	副会長	鈴木 富夫	高28
	副会長	瀬邊 勲	高2
	副会長	米田 嘉幸	高11
	副会長	西田 吉昭	高13
	副会長	草野 正博	高14
	副会長	廣坂 博	高14
	副会長	大橋 香代子	高18
	副会長	遠水 敏行	高18
	副会長	清水 新実	高20
	副会長	藤原 康隆	高21
	副会長	北田 久泰	高23
	副会長	坂井 仁美	高26
	副会長	河崎 久美	高30
	副会長	清水 金幸	高31
	副会長	廣部 正典	高36
	副会長	宮崎 正典	高37
	副会長	馬場 正典	高42
	副会長	川田 昌史	高48

長浜姉水会から写真が届きました。



第34回 長浜姉水会総会 H24.11.17 魚作樓にて

虎高第三回卒業同窓会 三十三回目で閉じる

平成二十四年十月五日、幸い天候に恵まれ、長浜ロイヤルホテルで三十三回目「最終」の同窓会を開催した。母校を巣立って六十二年目、全員が傘を占しくは八十の大台に乗った年齢である。この僅か一年の間で四名が亡くなり、物故者は三十八名に達した。

卒業時の在籍百四十名中、連絡の取れるもの九十六名、このうち四十一名という予想以上の参加者で最終同窓会を迎えることができたことは、この上なくうれしいことであった。

私たちは戦後の激動の時代に青春を過ごしたが、それなりに思い出もいっぱいある。中でも学制改革で男女共学になった時、突然隣の席に異性がいることでの気持ちの高まりや恥ずかしさで、当初はぎこちない態度で学習した頃も懐かしく思い出される。

小学校時代には戦争が激しくなり修学旅行は廃止になったが、虎高一年のとき、生れて初めての一泊旅行が

あった。当時の諸事情から、比叡山経由で京都、奈良方面へのささやかな旅行で、京都の「いろは旅館」に宿泊した。また、学園祭も開催されて、高校生活を謳歌する楽しさを味わった。また食料や物資に乏しく、極めて貧しく質素な生活状況であったが、サマータイム制や学校週五日制が実施され、一面で時代を先取りした高校生時代であった。剣道と柔道が



虎高第三回卒業生最終同窓会

滋賀県立虎高高等学校 第3回卒業生同窓会 平成24年10月5日 於:長浜ロイヤルホテル

古頼軍により禁止され、無用の旧中学の武道場は改築されて家庭科教室が出現した。その家庭科教室で、男子の希望者を募って洋食マナー教室が開かれた。未だ旧制鹿島の匂う男子も、女子の給仕で、フオーク・ナイフの洋食を楽しんだものだ。九十分授業が実施され、アッセンブリー(生徒集会)とホームルーム、今まで考査と呼ばれていたのがアティープメントテスト(学力テスト)と呼ばれるなど、初めて聞く呼び名が使われ、新制度の息吹きに満ちていた。

卒業してはや四十五年になる。選層も既に通過、年金生活が始まった。卒業後は時として同級会を開催してきたが、三十年目(四十八歳)の節目の会からは「一泊二日」という声が大きくなり、初めて芦原温泉の露天風呂内で酒を交わし、ゆったりと楽しむことが出来た。その時多くの参加者から「是非五年ごと定期的に開催してほしい」と強い要望が出てきた。と言うのも卒業して間もなく十八歳の若さでクラスメイトが亡くなり、三十年目の同級会では既に三人が物故者となっていたからだ。▼次の三十五周年の同級会は小学校時代の修学旅行先だった伊勢・鳥羽へ(物故者四人)に。▼四十周年では中学校時代の修学旅行だった東京と箱根へ(物故者五人)に。思い出の皇居や東京タワーにも行って来た。特に残雪の富士山をバックの記念写真は生涯忘れられない。▼その後選層では岩清水八幡宮へ参詣し、なんぼランド花月で吉本新喜劇を観劇、道頓堀ではてっちり料理で懇親を

最高の思い出は九州修学旅行 虎高第十九回卒業三年一組 卒業四十五周年記念同級会

が一階のティールラウンジで喫茶を楽しみながら帰宅までの時間を談笑して過ごした。私たちは、高校時代を、両親や恩師や先輩たちの温かい庇護と薫陶のお陰で育ち、経済成長の著しいその後の人生には、自助努力のほかに、大勢の人々のお陰で、今日があることに感謝しつつ、また素晴らしい同級生たちであったことを誇りに思い浸りながら解散した。

(寺村洋喜)

深めた。更に「平城京遷都一三〇〇年祭」に「ステリー」旅行・長野諏訪、「ゆっくり京都散策」に「たつぷり片山津温泉」等々を実施してきたが、その間にも物故者が増え恩師も含めて現在では九人になってしまった。▼そして今回の四十五周年では念願の高校の修学旅行だった九州へ行くことが出来た。「遠者なうちに、歩けるうちに」これが今回のスローガン。親の介護や体調不良等の方もあり十六名の参加であったが、往復九州新幹線を利用しての二泊三日(平成二十四年六月十日～十二日)の旅は正に十八歳にタイムスリップしたような青春旅行だった。熊本城、阿蘇の外輪等はいっついても素晴らしい。高校時代にはコースになかった「高千穂城」と「日本一の大吊り橋・九重夢大吊橋」も行って来た。担任ではなかった中村正勝先生、野瀬直子先生も忙しい中にも拘わらずご参加いただき心から感謝している。三年一組は私達の「誇り」であり「宝物」でもある。この貴重な財産をいつまでも大切に守り続けたい。「感動・感激・感謝」を胸に、卒業四十五周年記念同級会の修学旅行は、思い出いっぱいには無事終了した。

(清水次雄 記)



熊本城にて

比べるど何か物足りない。ただもう少し脂身があった方がいいなという感じがします。何とかこれをビワマスの飼料を改良してもう少しより脂のりの良いものをつくれなにかということをやっています。

それから今日みたいに暑い時は建物が大変熱くなります。バイオマスですけど砂おけを建物の屋上に敷き詰めてやってそれで少し涼しくしようということですね。砂おけを使ってバイオマス文化プロジェクト、それからまあ原発事故以来ですね。我が国のエネルギー政策をどうしたらいいかということには非常に重要な問題でございまして、バイオマスエタノールをですで作るようなそういう試みも同時にやられているところですよ。

それから地産産業活性化プロジェクト。これはバイオ技術を活用した浜ちりめんの活性化プロジェクトでありまして、光る浜ちりめんです。筑波の農水研究所とこちらとの協力で、すでに光る浜ちりめんはできています。私はいかにしてこれをもう少しちりめんのような着物だけではなくさらに洋服のネクタイとかにうまくいかないかと思っています。

○バイオ研究の目指すもの

将来を考えますと、大学はシーズを目指さなければいけないという使命をもっているのだらうと思います。これからの健康というものを考えたときに、できるだけ病気になるように、なつても早く治療してできるだけ健康で長生きしてほしいと、そして幸せに人生を送っていただきたいと思うのは皆さん共通のことだと思えます。そういったことを頭に入れますと、私どももとも医療部を出たということもあるためか、



何か有効な薬を創るということにバイオの方向が向くというのなと思っています。私もそのシーズ(種)を見つけて責任があるのではないかと、長浜バイオ大学の太田先生という方が海綿のゲオシア・イグジグアが持つイグジグオリドという天然物質を特定されました。これが昨年、名古屋の先生によって日本初の画期的な抗がん剤の開発につながる可能性があるというところまで行きました。この開発がもうまくいけば、1つのシーズが薬品になる可能性はあるということです。それからこれはまた別の研究室・水と研究室ですが、少し方法は違うのですが、酵母を使いまして、酵母の生育をコントロールするような方法を使いまして、こういうGMAXAといった物質を特定しています。これがどうも、細胞のがん化を抑えるのではないかと、いろいろなところまで来ております。さらにこれは2日前(8月2日)の新聞ですが、病気が筋萎縮性側索硬化症ALSという病気があるんです。これは難病です。だんだんいろんな体の筋肉が弱ってきて、最後には呼吸を司っている横隔膜の筋肉がやられるために、人工呼吸器をつなぎっぱなしにしないといけない。そういう状況になります。けれど、その患者さんの直接皮膚の細胞を採ってきてiPSとして培養すると、いろんな組織に分化させることが出来る。ですから、神経組織に分化させることも出来る。この病気が神経がやられる病気です。普通ですとちゃんと伸びるべき神経が伸び足りないといいますが、そういう具合になるんです。だから、まさに患者さんご自身の神経をなぞった形になるんです。そこにアナカルジン酸というものを入れると、神経が正常に伸びるというのを入れると、神経が正常に伸びるというんです。そういうことが発表されたんです。ですから、再生医療の鍵になるのではないかと、アナカルジン酸というものを調べてみますと、こういう構造で、ちよつと脂肪酸のような感じもあるんですが、これはヒストンというDNAに巻き付いているタンパク質を更にアセチル化する。そういう阻害ものなんですね。それがどうも効くかもしれないということであります。これは、最初に申しましたけど、エビジエネティクスという段階に入る仕事であります。エビジエネティクスと

いうのはどういうことかといえます。クロマチンという遺伝子DNAを取り巻いているタンパク質に、何か外からくっつけてやって、そのことにより正常化させようという試みなんです。このエビジエネティクスというのは非常に盛んになってきている分野です。それから、これが最後になると思いますが、もう一つ、クリプタイドというの、産業への応用に向けて非常に有望なものだと思えます。どういうのかといえます。タンパク質というのは普通アミノ酸から出来ております。それが切れるんです。切れたときに、普通はいらなくなったから切れてしまおうという考え方ですが、ところが、どうもそれだけではなくて、ある場所でも切れた場合、その切れたものが未知の生理活性を出す場合があるということがわかってきたんです。そうしますと、これはどこを切るかという問題なんですけども、今まで全く知らない。わかっていないような活性が、切れたもの同士が集まることによって初めて出てくる。切れない状態の時はそれが出てこないんです。切れて初めて出てくるんです。そういうおもしろい話なんです。そうしますと、従来の、伝統的な日本食というのは、大腸がんをむしろ抑えるとか、お味噌汁がいいとか言われます。大豆がいいとか言いますよね。どうもひよつとすると、そういう伝統的な日本食の中に隠された機能があって、そのタンパク質が切れて、それががんを抑えている可能性があるのではないかと、だから、この研究を進めますと、機能性食品とか新たな薬剤を作ることになるのではないかと期待しているところですよ。

○努力することによってスイッチをオンに 最後は一つだけ話をさせてもらいます。先ほど70兆の組み合わせがあると申しました。人皆さん違って、じゃあ自分はこういう組み合わせだからしょうがないんだと思うかどうかなんですが、ところがですね、遺伝子の発現その染色体の組み合わせが出来たとしても、そこから次の段階は、2万3千個くらいある遺伝子の発現が、スイッチがオンオフになるという、そういう段階があるんです。それで皆さん方のいろんなことが全部それで決まってくるわけなんです。これは決まらなくて、遺伝子の発現は環境によって変わってくる。要するにそれは努力によって変わるはずだ。これは私の信念ですけれども、そのメカニズムは何かということ、遺伝子のメチル化ということがありまして、例えば、ある遺伝子が非常にいい遺伝子が働くと、この前にもあるようにDNAの塩基は、スイッチがオンになっている。でいい遺伝子が働いているんです。ところが、がんのところを見ますとこの青く塗ってありますね。これはメチル化という先ほどのエビジエネティクスの変化、環境の変化によって、ここはこんな風に青くなっている。このスイッチが切れてしまっている。いかにしてこのスイッチを戻してあげることによってまた正常化するかどうかということがあるわけです。ですから、いろんな能力が、例えば自分も少しこの能力を開発したいという場合には、それなりに努力することによってスイッチをオンにすることが出来るはずで、ある人の言葉を借りますと、人間は生きている間に使える能力の5%くらいしか使っていないと言っています。ですから、あと95%ほどん努力によって使えるはずだと言っています。ただ、努力しないからいけないんで、まあそういうことです。それを具体的に言いますと、こういうことなんです。ですから是非、これは学生さんにはよく言うんですが、でも具体的な証拠があるんです。だから、それを是非学んでくださいと、バイオの教育で学んでくださいというのが私の言いたいところがあります。どうもご静慮ありがとうございます。



母校は今

平成二十五年 職員人事異動

(敬称略)

退職 西嶋 博純(校長)

北村 茂樹(副主幹)

転出 大道敏喜雄(教頭として)

森 将之(社会)伊香高校へ

杉田 義治(数学)長浜北星高校へ

植村 尚天(数学)野洲高校へ

中間 優貴(保健)長浜高校へ

北村三子代(英語)長浜北星高校へ

日置 康代(英語)八幡商業高校より

森田 忠男(数学)長浜北星高校より

澤村 祥太(保健)湖南農業高校より

渡邊 航大(社会)新規模採用

小財 久美(英語)新規模採用

福永 和真(理科)臨時講師

丸野 修敏(社会)臨時講師

草野 宗夫(副主幹)長浜北星高校より

今年度永年勤続表彰

母校に永年ご勤続をいただき、後輩の教育にご尽力されている先生方の労に對し、総会において会長より感謝状と記念品が贈呈されます。

十年勤続 横田 明子 山崎 毅

授業で勝負

“ほんまもんの力を！”

鹿高18回非常勤講師 橋 香澄

平成7年母校の教壇に立たせていただいた日より、19年の歳月が流れました。お縁さまで本年も非常勤講師として勤めさせていただきました。この間には、第3棟の建設をはじめ80・90周年事業、耐震工事、中高一貫校の指定研究等々いろいろな事がありました。その中で、赴任した最初の頃に私が受けた最も強烈なインパクトについて記したいと思います。それは、「虎高は日々の授業で勝負する」という全職員の一一致した姿勢とそれに応える生徒の毎日の取り組み姿勢でありました。多くの校務

の中で授業の教材研究を最優先にされてきました。本校での3年間の授業こそが生徒にはんまもんの力をつける唯一の道であるという強い信念と、長年の経験から裏付けられた自信にみちた授業を目的にいたしました。私は、言いようのない驚きと緊張感を感じて「自分にやってみようか？」という不安感に襲われたものです。「頼みそれから汗が吹き出るまで考えぬけ！」とは2学期始業式校長式辞の一言ですが、解けない問題にもあきらめることなく長時間かけても独りで挑む事が肝要であるとの教えであったと思います。私は、本校2年目より51回生の学年主任を仰せつかり、先輩諸先生から多くのアドバイスや手作りの貴重な資料をいただきました。本当に勉強させていただき、彼らの卒業で「ようやく私も虎高職員の仲間に入れてもらえる。」そんな思いがしたものです。

さて、今日の状況は、先生も生徒も忙しくなり、授業時数の減少、大学入試形態の変化、学習塾を利用する生徒の増加等々厳しくなってきました。しかしながら、「虎高は日々の授業で勝負する」という基本の姿勢は全校一丸となって堅持していただきたいと願うものです。ところで、虎高創立100周年は2020年です。このよき伝統と歴史を職員生徒が学ぶこ

とも大切なことと思います。そのために例えば、図書館を増設改築して現在姉水会館に保管の記録資料を展示するコーナーを設け、100年の貴重な歩みを、在学中に生徒が目につけることが出来る形を考えたのです。大切な紙面をいたしながら私の勝手な思いを綴らせていただきました。姉水会の発展と会員諸氏のいよいよの御健勝を念じます。



67回生 山本有紀子 「今やるべきことはなにか」

虎高での1年間をふりかえって、第2学年に懸ける心情を自分のことばを素材として表現した。巧みな筆遣いにより多様な線を組み合わせ、文字の造形と構成が調和した余白の美しい秀作。 [橋 評]

65回生 大学・短大・専門学校等合格者数一覧表

【国立大学】		【私立4年制大学】	
大学	総合格数	大学	総合格数
山形大	2	東京大	1
横浜国立大	1	上智大	1(1)
富山大	2	法政大	1(1)
金沢大	7	北里大	1
福井大	2	東海大	2
信州大	2(1)	東京薬大	1
岐阜大	4	東京理大	1
名古屋大	1	日本大	2
名古屋工大	5	明治大	2
三重大	4	早稲田大	2
滋賀大	15	金沢工大	5(2)
京都大	2(2)	北越大	1
京都教育大	1	朝日大	1
京大工学部	1	岐阜聖徳学園大	25(1)
大塚大	2	岐阜薬科学大	3
大塚教育大	2	愛知工業大	2
神戶大	2(1)	愛知徳大	1
新長女子大	1	金沢学院大	1(1)
和歌山大	5	福山女学院大	2
鳥取大	1	東京大	5
鳥取大	1(1)	東海学園大	2
岡山大	3	豊田工大	1
広島大	3(1)	名古屋学院大	1
山口教育大	1	名古屋学芸大	1
香川大	1	藤田保健衛生大	1
愛媛大	1	名城大	6
静岡文化芸術大	2	名古屋学芸大	1
愛知県立大	1	近畿造形大	1
滋賀県立大	7	京都府立大	1
京都市立大	1(1)	京大	1
大阪府立大	3	大阪府立大	1
京大法学部	2	京大経済学	1
新加坡大	1	京大文学部	1
合計	89(7)	合計	89(7)
【短期大学】		【専門学校】	
短期大学	総合格数	専門学校	総合格数
大田女子大	1	天津泰十字看護	1
池田女子大	3	京都医療看護	1
池田短期大	1	徳島県立看護	1
京都文教短期	1	高知総合医療	1
東洋大短大	3	近畿医療技術	1
五條大短大	1	日本製菓技術	1
神戸女短期	1(1)	大宮アールデコ	1
合計	11(1)	計A1名古専	1
【就職】		【就職】	
事業所	総合格数	事業所	総合格数
南	1	南	1
合計	1	合計	1

65回生(平成25年3月卒) 大学等合格者数・進学者数

大学等	合格者数		進学者数		進学者合格者数	
	合格者数	進学者数	合格者数	進学者数	合格者数	進学者数
国立大学	73	71	6	7		
公立大学	16	14	85	1		
私立大学	410	75	25			
公立短期						
私立短期	11	4				
専門学校等	10	8				
就職・公務員	1	1				
その他		23				
合計	521	196	32			



三 角 点

(上位成績のみ)

■平成24年度分

【秋季総体】

- ・卓球部 女子団体 ベスト8 近畿大会出場
女子ダブルス ベスト8 近畿大会出場
- ・アメリカンフットボール部 3位
- ・陸上部
- 西村顕志 100M 1位
200M 1位

【文化部】・美術部

谷口美郷 近畿高校文化祭に出展

・演劇部

県最優秀賞 近畿大会に出場 優秀賞

・囲碁将棋部

- 男子新人戦 真 大樹 県優勝
- 女子新人戦 村上祥代 県優勝

全国高文連将棋新人大会に出場

■平成25年度分

【文化部】

・囲碁将棋部

将棋部員県高校選手権

村上祥代 県優勝 全国高文連将棋新人大会に出場

【春季総体】

・水泳部

面島功祐 100Mバタ5位 近畿大会出場
200Mバタ6位 近畿大会出場

・アーチエリート部

中田 翔 男子個人 5位 近畿大会出場
岸野彩花 女子個人 11位 近畿大会出場

・陸上競技部

西村顕志 200M 2位 近畿大会出場
灘弥純希 200M 6位 近畿大会出場

・ソフトテニス部

男子団体 ベスト8 近畿大会出場
ダブルス 藤森淳一・伊吹 匠
ベスト8 近畿大会出場

女子ダブルス

藤森美優・秋野祥知
ベスト16 近畿大会出場

・卓球部

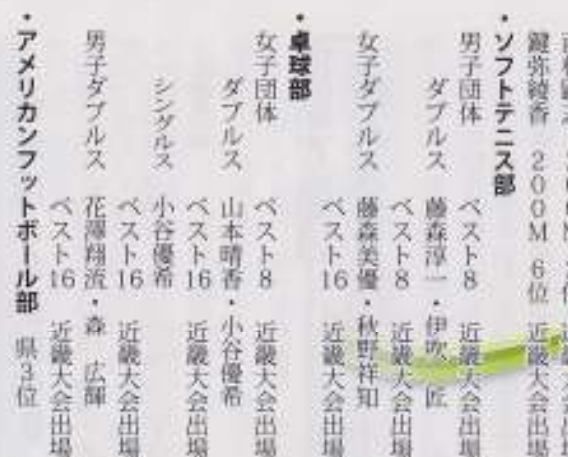
女子団体 ベスト8 近畿大会出場
ダブルス 山本晴香・小谷優希
ベスト16 近畿大会出場

シングルス

小谷優希 ベスト16 近畿大会出場
花澤翔流・森 広輝
ベスト16 近畿大会出場

・アメリカンフットボール部

県3位



平成24年度 運営協力金について

振込金額	1,950,000円
(口数)	975口
手数料	117,170円
差引金額	1,832,830円

多くの会員の方からお振り込みいただき誠にありがとうございました。
H24年度運営協力金は、主に会報「姉水」発行経費に充てさせていただきました。
今年度も、皆様方のご協力をよろしくお願ひ致します。

「同窓会だより」の原稿募集について

多くの学年で、旧交を温め合うべく同窓会を開催されていることと思います。その様子を本紙の「日東第一だより」に掲載させていただきたく存じます。是非とも事務局まで原稿をお寄せ下さい。写真のみの掲載でも結構ですので、どうぞよろしくお願い致します。毎年、5月上旬が原稿〆切りになっております。

平成24年度 姉水会決算報告(案)

(1) 一般会計
収入の部 自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日

項目	金額	備考
前年度繰越金	1,979,899	(定期: 1,403,343円、普通: 576,556円)
入会金	588,000	高65回生(3,000円×196人)
同窓会名簿売上	20,000	4,000円×5冊
運営協力金	1,832,830	口数975口、手数料差引額
雑収入	10,357	利息(定期、普通)、総会祝儀
合計	4,430,886	

支出の部

項目	金額	備考
通信費	7,085	郵送料、振込手数料
旅費	76,520	東京姉水会
会議費	112,862	理事会・総会等(永年勤続祝金・写真代等)
慶弔費	33,362	祝儀(東京姉水会・長浜姉水会)、香典等
姉水会船損害保険	36,750	損害保険料
会報「姉水」発行経費	1,761,736	株式会社「サラト」に委託
姉水会館光熱費	102,477	ガス・電気・水道
姉水会館備品等	111,510	冷暖房購入、タニタ製、炊飯器修理
「特別会計」へ繰入	392,000	高65回生入会金より(2,000円×196人)
合計	2,634,302	

次年度繰越金 1,796,584 (定期: 1,403,623円、普通: 392,961円)

(2) 特別会計
収入の部

項目	金額	備考
前年度繰越金	11,620,903	(定期: 6,326,617円、普通: 5,294,286円)
一般会計より繰入	392,000	高65回生入会金より
雑収入	11,492	利息(定期: 10,684円、普通: 808円)
合計	12,024,395	

支出の部

項目	金額	備考
合計	0	支出なし

次年度繰越金 12,024,395 (定期: 6,337,301円、普通: 5,687,094円)